

～一人一人の子どもを大切にするために～

## 「学校」の取組

### ◆いじめへの対応

- いじめの認知を積極的に行うとともに、「報告・連絡・相談」＋実行確認を確実にし、全校体制で組織的に対応します。
- 児童生徒が主体となる活動を継続的に展開し、いじめをしない、見逃さない、許さない意識を醸成します。

### ◆不登校への対応

- 学校に行きづらい児童生徒への組織的な対応と、「子どもとともに1・2・3運動」を確実にし、不登校の未然防止と丁寧な初期対応に努めます。

※「子どもとともに1・2・3運動」：欠席した日から電話や家庭訪問を行って子どもの様子を把握すること。

- 「学びの多様化学校」を開校し、一人一人の状況に適した場所で支援を受けることができるよう体制づくりを図ります。

### ◆発達支持的生徒指導の推進

- 課題予防、早期対応だけでなく、児童生徒が自発的・自主的に自らを発達させていくことを尊重した教職員の働き掛けを大切にします。



### ◆保幼小中連携

- 「架け橋プログラム」や「中1ギャップ解消プログラム」等により、途切れのない子どもの成長を目指して、園・小・中学校が互いに情報を共有し、子どもの学びを支えます。

～小千谷市教育の充実のために～

## 「教育センター」の取組

### ◆理科センター機能及び教職員研修の充実

実践的な理科教育事業を推進するとともに、若手教員の育成や新学習指導要領に対応した研修の充実を図ります。

### ◆教育相談・適応指導教室「マイルーム」の取組

悩みや困り感に応じた相談や子どもの居場所づくりに努め、一人一人の子どもに合った支援をします。

### ◆視聴覚教材・機器の貸出

園や学校、PTA、社会教育団体へ視聴覚教材・機器を無料で貸し出します。

《小千谷市教育センター》TEL・FAX 0258-82-6750

〒947-0031 小千谷市土川1-5-53 E-mail k-center@city.ojiya.niigata.jp

～子どもの望ましい生活習慣づくりのために～

## 「家庭」の取組

### ◆メディア接触コントロール・家庭学習

- 子どもの発達段階に応じて、保護者がインターネット利用を適切に管理するよう努めます。
- 家庭でメディア(テレビ、ゲーム機、スマートフォン、タブレット、パソコンなど)の使用ルールやGIGAパソコンの使用ルールを決めます。

<小千谷市統一ルール>

- ①小学生は夜9時から、中学生は夜10時からゲーム機やパソコン、スマートフォンなどのメディアは使用しません。
- ②平日は、メディア接触時間を一日2時間以内、家庭学習時間を10分×(学年) ※中1：7学年 を目標に取り組みます。

### ◆食べて動いてよく寝よう

- 子どもの成長に必要な睡眠時間を確保し、朝ご飯をしっかり食べさせ、進んで体を動かすことができるよう支援します。
- ※望ましい睡眠時間(6～13歳：9～11時間、14～17歳：8～10時間)  
文部科学省『早寝早起き朝ご飯で輝く君の未来』より

### ◆お手伝いの推進

- 子どもに『家庭の仕事1役割』を受けもたせ、家族の一員としての自覚を促し、自己有用感を高めます。

「小千谷市PTA連合会」は、子どもたちの健やかな成長を目指し、上記の内容に積極的に取り組みます。



～地域の未来を創る子どもを育てるために～

## 「地域」の取組

### ◆学習ボランティアや地域部活動指導などへの参加

学習ボランティアなど、学校の教育活動に積極的にかかわり、子どもの学習や活動を支えます。また、部活動の地域移行(地域展開)に伴い、子どもの部活動を支えます。

### ◆見守りボランティアなどへの参加

見守りボランティアや子どもへの声かけなど、子どもの安全・安心を守る活動に地域全体で取り組みます。

### ◆地域行事への子どもたちの参加促進

子どもが参加できる地域行事を行い、子どもとともに地域活動を進めます。

2025～2027年度

# おぢやっ子 教育プラン

自ら考え 心豊かに  
たくましく生きる 小千谷の子ども



## 「おぢやっ子教育プラン」に寄せて

小千谷市教育委員会は、第五次小千谷市総合計画の教育分野の基本目標「人を育み文化の香るまちづくり」の実現に向け、全市で取り組む学校教育の指針として「おぢやっ子教育プラン」を定めています。

この教育プランでは、2017年の学習指導要領の改訂を受け、「生きる力」を育む「社会に開かれた教育課程」の実現、そのための「主体的・対話的で深い学び」や「カリキュラム・マネジメント」、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、「ICTの活用」など、教育の新たな流れを实践し、「自ら考え 心豊かにたくましく生きる 小千谷の子ども」の育成を目指します。

小千谷市教育委員会では、「目指す子どもの姿に迫る4つの柱」や、「たて糸(学校)と横糸(家庭・地域)がおりなす小千谷のひとづくり」の視点から、「学校」「家庭」「地域」「行政」が連携し、深い愛情と信頼にあふれた小千谷の教育風土を培い、一人一人の子どもたちの可能性を伸ばすように努めていきます。

併せて、教職員が子どもとじっくりと向き合える時間を確保し、一丸となって教育活動に取り組むことができるよう、学校の働き方改革を推進していきます。

## 小千谷市教育委員会

〒947-0028 小千谷市城内4-1-38

TEL 0258-83-3519 FAX 0258-83-5779

E-mail edu@city.ojiya.niigata.jp

# おちゃっ子教育プラン

## 自ら考え 心豊かに たくましく生きる 小千谷の子ども



- 深く考える ○主体的に取り組む ○善悪の判断ができる ○感謝する心をもつ ○相手を思いやる ○協力して取り組む
- あきらめずにやりとげる ○命を大切にする ○健康な身体をつくる ○ふるさとを大切にする ○夢や目標をもって取り組む

### 確かな学力

#### 学校の役割

学ぶ意欲を高めるとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、学力向上を目指します。

※個別最適な学び：子ども一人一人に応じて、学習活動や学習課題に取り組んだり、学習方法や教材等を柔軟に設定したりすること。  
※協働的な学び：他者との交流を通して、よりよい学びを生み出すこと。

#### 家庭の役割

家庭学習が計画的に継続できるよう学習環境を整え、励まします。

### 豊かな心

#### 学校の役割

様々な人との関わりや体験活動を大切にし、自己有用感や自己肯定感、思いやりの気持ち、前向きに挑戦する心を育みます。

#### 家庭の役割

あいさつ、感謝、奉仕など、モラルを高め自立心を育みます。

### 健やかな体

#### 学校の役割

多様な運動の経験を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動が好きなお子さんを育て、体力向上を図ります。

#### 家庭の役割

食事や睡眠、メディア使用時間など、よりよい生活習慣づくりに努めます。

### ふるさとと夢づくり

#### 学校の役割

「ふるさと小千谷」に誇りを持ち、夢や目標に向かって進む礎をつくります。

#### 家庭の役割

家族の会話やふれあいを大切にし、ふるさとのよさを伝え、夢や希望を応援します。

## 目指す子どもの姿に迫る4つの柱

### 家庭〈心の拠り所〉

- ・子どもの話に耳を傾け、家庭でのコミュニケーションを大切にします。
- ・家庭の中でも外でも、しっかりとしたあいさつができるようにします。
- ・家庭でGIGAパソコンやメディア使用について話し合い、ルールを決めて守るようにします。

### 地域〈見守り支える所〉

- ・地域全体であいさつを交わし、子どもをあたたかく見守ります。
- ・地域の行事や活動、スポーツなどを通して、子どもの豊かな学びや成長を後押しします。
- ・子どもの安全・安心を守る活動に、学校、家庭と連携して取り組みます。



### よこ糸

#### ふるさと教育

- ・小千谷の自然、歴史、産業等を学び、郷土を愛し誇りに思う子どもを育てます。
- ・身近な地域の教育資源等を活用し、体験的な学習を進めます。

#### キャリア教育

- ・「キャリア・パスポート」等を活用し、夢や希望を持ち、その実現に必要な5つの力を育みます。(社会形成力、自己管理能力、課題対応力、夢を起す力、郷土を愛する力)
- ・身近な人から生き方を学んだり、実際に職業を体験したりするなど、地域に根ざしたキャリア教育を進めます。

#### 防災教育

- ・災害対応の方法を学び、「自分の命は自分で守る」防災意識をもつ子どもを育てます。
- ・「おぢや防災塾」や防災食、そなえ館の活用などを通して、防災教育を進めます。

#### 特別支援教育

- ・一人一人の教育ニーズに応じ、多様な学びの場において、適切な指導を行います。
- ・困り感のある子の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加できる力を育てます。
- ・総合支援学校のセンター的機能や教育センターを活かし、相談ネットワークの充実を図ります。

#### 人権教育、同和教育

- ・「考え、議論する道徳」の授業を推進し、互いに認め支え合う心を育てます。
- ・現地研修などの研修の充実により、人権意識を高め、「かかわる同和教育」を進めます。
- ・同和問題についての正しい知識と豊かな人権感覚を身に付けるため、「生きる」シリーズの活用を進めます。

#### ICT教育

- ・基本的な操作、問題解決における情報活用、プログラミング、発達段階に応じた情報モラルを含む「情報活用能力」を育てます。
- ・ICT機器の有効活用により、分かりやすく意欲的な学びを推進し、「個別最適な学び」の実現を図ります。

### よこ糸

「たて糸」(学校の取組)と「よこ糸」(地域・家庭の取組)がおりなす小千谷のひとづくり